

生涯学習「まなびの森講演会」

150回記念 30人聴講

石田徳大名誉教授が登壇

放送大学徳島学習センタ
ーと県立図書館が毎月開い
ている「まなびの森講演会」
の150回記念講演が17
日、徳島市の同館であった。

徳島大の石田啓祐名誉教授
(地質学)が登壇し、県内
の地層と歴史的価値をテー
マにした講演に、約30人が
耳を傾けた。

石田名誉教授は、地層に
は地球の歴史や環境の変化
を物語る情報が詰まってい
ると説明した上で、那賀川
流域で見つかった石灰岩を
含む地層について紹介。石
灰岩から採取された化石を
調べた結果、フィリピン
のパナイ島にある地層と特徴

が一緒だったことが判明し
たとし、約2億〜2億5千
万年前には日本とフィピン
が陸続きだったことが分か
るデータを示した。

海陽町にある国天然記念

物「穴喰浦の化石連痕」に

も触れた。約4500万年
前に日本海溝で作られた地
層で、形を分析することで
当時の海溝付近の水流方向
が分かる。地殻変動によっ
て陸上に隆起したとされ、

石田名誉教授は「日本列島
の生い立ちが分かる、まさ
に自然の碑と言え」と地
層を持つ価値を説明した。

まなびの森講演会は、地
域住民の生涯学習に役立て



地層と歴史について語る
石田名誉教授＝県立図書館

てもらおうと2009年4
月に開講。これまでに63

05人が受講した。

(濱岡幸宏)